

春の叙勲 片座さん受章

旭日双光章

地方自治功勞
(元村議会議員)

政府は4月29日付けで、平成27年春の叙勲受章者を発表し、村から黒崎の片座亮(さん(82))が旭日双光章を受章しました。

片座さんは昭和54年から平成14年までの6期23年間村議会議員を務め、第1次産業の生産力向上のため、漁港建設事業や水産業経営活性化事業を推進したほか、昭和62年5月から1期4年間副議長を務め、開かれた議会を推進してきました。



旭日双光章を受章した片座さん

固定資産委員に 太田名部の大村さんを再任



辞令を受ける大村さん(左)

任期満了に伴い、村固定資産評価審査委員会委員に太田名部の大村政義さん(61)が再任されました。今回の再任で大村さんは4期目で、任期は平成27年5月1日から平成30年4月30日までの3年間です。

辞令交付式は5月1日、役場で行われ、榎屋伸夫村長が大村さんに辞令書を手渡しました。

追手門学院と協力協定を締結 締結でさらなる地域振興に期待

手県普代村と学校法人追手門学院 「連携協力に関する協定」

村は4月23日、大阪府の学校法人追手門学院大学と包括連携協定を締結した。



連携協力を誓う榎屋村長(左)と川原理事長(右)

結し、両者が相互に発展するための連携協力を誓い合いました。

行われ、同大学の川原俊明理事長と榎屋村長が協定書に署名捺印しました。協定の内容は人的交流の促進やまちづくりのための事業の実施などで連携協力し、各産業や教育などさまざまな分野で相互発展を目指すというもので協定の締結で、さらなる地域振興の推進と教育効果の向上が図られます。同大学の地域文化創造機構(河合博司機構長)が、重要無形民俗文化財の鶴鳥神楽の復興を支援してくれたことなどから、今回の協定締結につながりました。

応急復旧に関する協定を締結 安全・安心な村づくりを推進

村は5月11日、久慈市の下水道工事業者協同組合と「災害時等における応急復旧に関する協定」を締結しました。調印式は役場の村長室で行われ、榎屋村長や同組合の伊藤良一理事長など約10人が参加。関係者に見守られる中、榎屋村長と伊藤理事長が協定書に押印しました。

協定の内容は災害などが発生、または発生する恐れがある時、村の水道施設の応急復旧に同組合が応援活動を行うというものです。



関係者に見守られる中、押印する榎屋村長

小中合同の津波避難訓練 全児童生徒が約7分で避難



先生の指示でバイパス脇の広場を目指す児童たち

普代小学校の児童生徒と教職員による津波避難訓練が4月22日、国土交通省三陸国道工事事務所が整備した、普代バイパスへの避難階段を使用して行われました。

訓練は「午前11時に強い地震が発生。2分後に大津波警報が発令」という想定で実施。それぞれの校内で「大津波警報発令」の放送がされ、児童生徒は教職員の指示に従い、一斉にバイパス脇の広場に向かい避難を開始しました。約7分で全児童生徒がバイパス脇の広場に到着し、避難が完了。普代小学校の菅原俊博副校長は「有事の際は中学生の皆さんが先頭に立って小学生を引っ張って欲しいです。今日の訓練は立派でした」と講評しました。

整備された避難階段は幅2m、長さ45m、高さ16m。階段を上りきると広場が整備されていて、広さが約140平方メートル、大人150人分のスペースが確保されています。

ジオをテーマに県政懇が村で開催 中学生はジオで村の良さを再確認



達増知事(右)に鉄山染の説明をする和村さん(左)

午後には達増知事が普代中学校を訪問し、3年生のジオパーク授業の成果発表会を見学。4人の生徒が普代水門やアンモ浦の滝などを学習しての成果発表をしました。太田慎くんは「ジオパーク授業を通して村の良さを再確認する機会がありました」と学びを深めた様子でした。

達増知事は「普代村には全国に誇れる資源があります。中学生の皆さんは好きなものをもっと好きになってください」と期待を込めました。

普代中生の修学旅行 学びを深めた3泊4日



たくさんの人が普代の特産品などを買い求めました

普代中学校(佐藤嘉宏校長、生徒64人)3年生27人の修学旅行が、4月14日から17日まで東京都内で行われました。

4月15日には銀座にある「いわて銀河プラザ」で生徒による販売体験を実施。普代の特産品や商店街の各商品などをたくさんの人が買い求めました。

午後からは村出身で新宿学園新宿調理師専門学校校長を務める上神田梅雄さんの計らいで同校の見学やふるさと普代会(中野健治会長、会員188人)の会員9人と交流し、ふるさととの先輩から熱い激励を受けました。

県政懇談会「がんばろう! 岩手」意見交換会が4月28日、役場で開かれ、6人のジオパーク有識者が、達増知事もとジオパークをテーマに意見交換をしました。意見交換会ではジオパークが地域にもたらす効果など、さまざまな意見のほか要望が出され、有識者たちは今後の取り組みへの理解を求めました。また萩牛生活研究グループの和村淑子さんも参加し、同グループで作っている「鉄山染ストール」を披露。商品説明をするなどして達増知事に勧



授業の講評をする達増知事